

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 120319

在宅看護方法論 I Home Care Nursing I

担当教員	林一美 桜井志保美 子吉知恵美 山崎智可				
実務経験					
開講年次	3年次前期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	在宅療養者とその家族の生活の理解、在宅生活援助技術				
学習目的・目標	【目的】在宅看護の対象である在宅療養者・要介護者とその家族への理解を深めるとともに、在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術について講義・演習を通して修得できる。【目標】1.在宅看護の展開について理解する。2.在宅看護で必要とされる基本的な技術について修得する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	在宅療養者とその家族の生活 ・在宅療養者とその家族の生活状況、家族による介護状況、援助者による援助の状況について理解を深める				
2	在宅看護の展開/在宅における面接技術・観察技術 ・訪問看護の実際、訪問看護制度、在宅における面接技術、在宅における観察・アセスメント (フィジカルアセスメント、服薬管理、急変時看護療養生活の支援)				
3	ケアマネジメント ・ケアマネジメントの定義、在宅ケアシステム、ケアマネジメントの構成要素、社会資源について、ケアマネジメントの展開過程				
4-5	在宅生活援助技術 ・在宅における食・排泄・活動と休息・清潔のアセスメントと援助方法				
6-8	在宅生活援助技術 ・在宅における食・排泄・活動と休息・清潔のアセスメントと援助方法(演習)				
教科書	河原加代子他：系統看護学講座 在宅看護論、医学書院 原礼子編著：プリンシプル在宅看護学、医歯薬出版株式会社 鈴木和子・渡辺裕子著：家族看護学―理論と実践―、第4版、日本看護協会出版会、 国民衛生の動向、最新版、厚生統計協会。				
参考図書等	訪問看護業務の手引、最新版、社会保険研究所				
評価指標	在宅看護学フィールドワーク・自己学習課題・演習の態度25%、定期試験75%				
関連科目	在宅看護学概論・家族看護論・在宅看護方法論Ⅱ・在宅看護学実習				
教員から学生へのメッセージ	在宅看護方法論Ⅰは、在宅看護関連科目、既習した看護の基本や看護援助の方法を踏まえて、在宅で応用してゆく看護方法を学びます。自学自習を積み重ねながら、在宅特有の看護方法の修得に努めましょう。				